

横越

第 15 号

平成25年1月15日
(2013)

コミュニティ協議会ニュース

発行 横越コミュニティ協議会
事務所 江南区横越出張所
新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
電話 385-2111

ごあいさつ

会長 本間 一人

新年明けましておめでとうござい
ます。

皆さま方におかれましては良いお年
をお迎えのこととお慶び申し上げま
す。

さて、恒例の清水寺の昨年の文字は
「金」でした。マスコミではオリンピ
ックにおける日本選手の活躍で金メダ
ルの数が増え頑張る姿は、疲弊しきつ
た日本経済や未だに復興が見えてこな
い三・一一地震や福島原発で悩む国民
に多くの勇気と決して諦めないことを
与えてくれたと報じています。

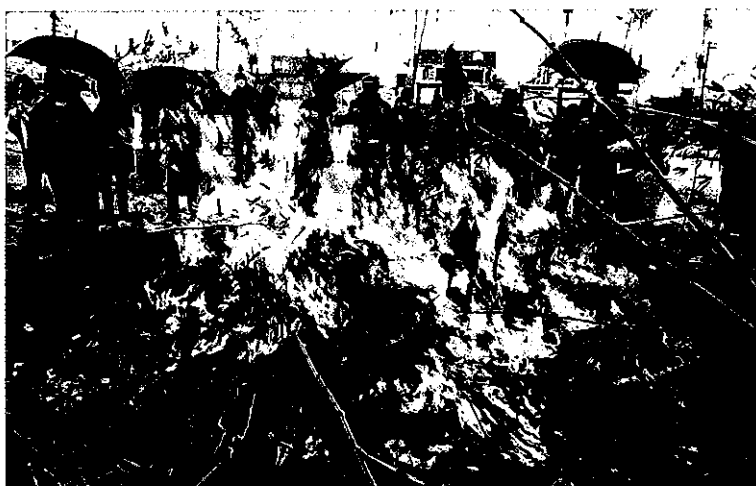
そしてもう一つの金はノーベル賞で
す。一年を締めくくる十二月十日スト
ックホルムで山中伸弥京都大学教授が
受賞されました。明るいニュースで一
年が終えることができて良かったので
すが、巷では相変わらず少子化問題、
雇用問題、若者の結婚問題、あげれば
数えきれないほどの問題が山積してい
ます。

この度の総選挙で軍配は自民に上が
りましたが選挙で叫んだことや公約は
実行してもらいたいです……。

国民は経済の回復と原発を始め外交
に於いても安全安心な国民生活を望ん
でいます。党利党略でなく国民的課題
は超党派で一日も早く解決して貰いた
いものです。そして国民も行政に任せ

ることなく、身の回りの地域（隣組）
の構築から連帯感を醸成し少子高齢化
を、末端の組織の強化を地域経済の回
復を図るべく手をとりあつて行動する
一年としたいものであります。

コミュニティ協議会では様々な地域
課題を解決するべく活動してまいりま
す。地域、団体から協議会委員が選ば
れています。何でも気軽に寄せくだ
さい。皆さまと一緒に頑張りま
すので、どうぞ宜しくお願い申し上
げます。



無病息災をねがって

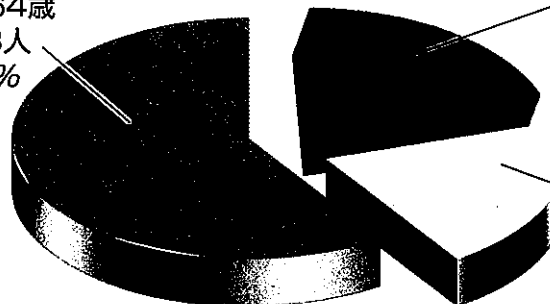
一月十三日（日）、
横越各地で賽の神行事が行われました。

横越地区人口構成

20歳～64歳
7,153人
59.1%

65歳以上
2,479人
20.5%

19歳以下
2,469人
20.4%

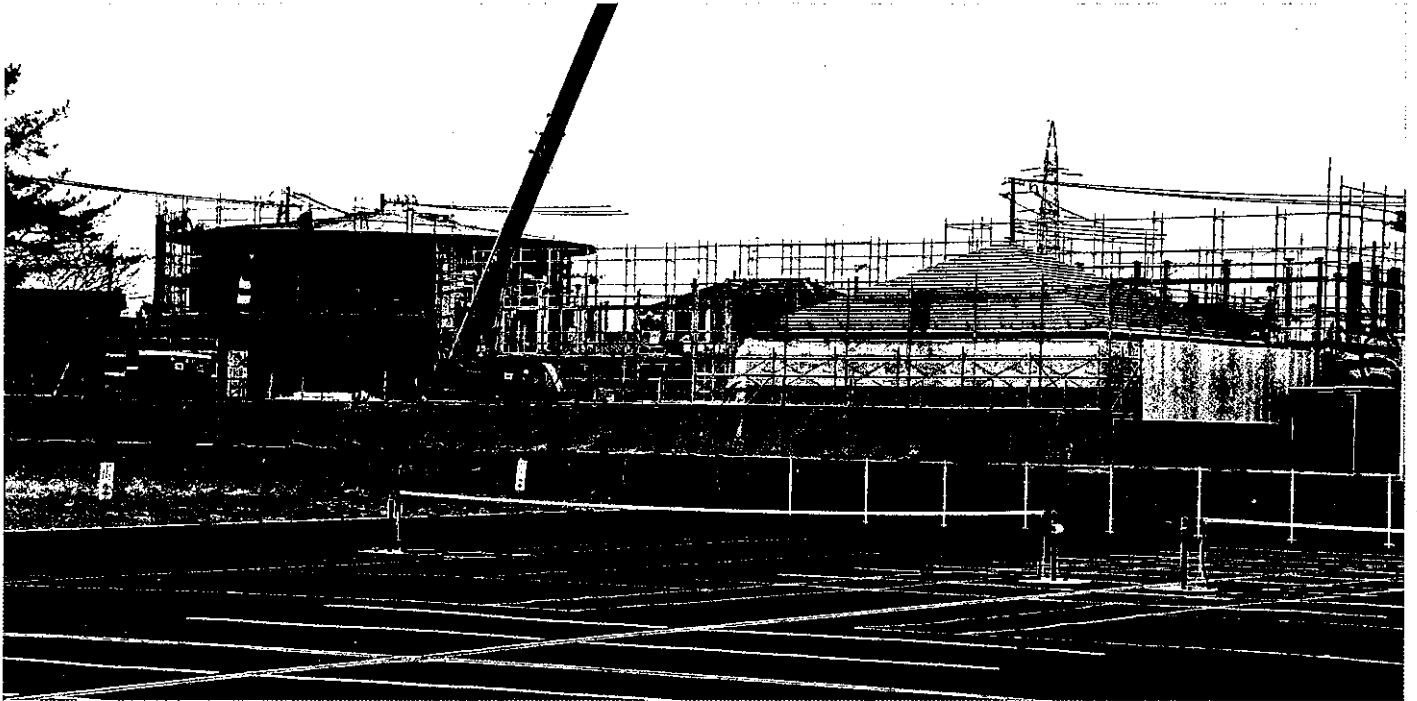


◆ 人口 12,101 人
男 5,985 人
女 6,116 人
◆ 世帯 3,989 世帯

(平成24年10月末現在)
(住民基本台帳より)

姿を現した横越中央保育園

横越中央3丁目に建設中の中央保育園の丸く大きな円筒形の姿が現れ、木造2階建ての建物が今春の開園に向け工事が進んでいます。子育て支援センターも併設され、安心して子育てできるように行政はじめ地域社会が応援しています。子育てについて心配事や要望があればお寄せください。



老朽化した亀田跨線橋



信越線亀田跨線橋が全面通行止めになっていきます。老朽化による安全確保ができない為交通止めとなって
いるもので通勤、通学など地域経済
にとっては大変な問題となっていま
す。長期間に渡り通行不能になるわ

けですが、改装するからには大型車の
すれ違いのできる道路幅と歩道が出来
なければ何にもなりません。
二本木地域を核として割野、酒屋、
茅野山地域の総合開発をこの機会にも
う一度考える年としたいものです。

コミュニティ協議会の事業は新潟市の補助金を受けて実施しています。

健康福祉部会のうごき

健康福祉部会は、地域の人々みんなの交流が深まること、それが住み慣れたところで安心・安全な暮らしを続けていることにつながるのだという願いをこめて活動をしています。その事業として昨年は二つの催し物を行いました。

▼一つは五月に実施した「元気なよごし人づくり」です。その様子は前号のコミ協ニュースでお知らせしました。

▼今ひとつは恒例になった「横越地区世代交流会」。今回で第六回目を向えます。今回のメインは新潟市水道局水質課から「水の旅」水源から蛇口まで」と題しての講演でした。

横越地内には阿賀野川浄水場があります。大切なライフラインの一つ上水道。横越地区の上水道はここから供給されているのはもちろんですが、地元にある浄水場施設の役割を再認識していただく意味も含め、この講演会を企画しました。尾瀬沼から始まる阿賀野川水系の水を取水して新潟市内に供給される「水の旅」ですが、阿賀野川浄水場でつくられた水が末端の新潟飛行場近くまで届くまでには二日ほどかかるという説明もまさに「再認識」でした。

アトラクションは横越民謡連盟さ

ん十団体による演舞と、本間一人氏の撮影作品「美しい横越の景観」が映写されました。

参加された横越地区の地域のお茶の間のたくさんの方々を始め、それぞれ協力された皆さん、大変ありがとうございました。

続けて、これからの健康福祉部会の取り組みをPRします。

▼川根谷地区で新しく地域の茶の間を開設します。初回は平成二十五年一月十九日(土)。地域包括支援センター大江山・横越の職員にお願いして、健康についてのお話のほか、集まった皆さんでおしゃべりや唄を歌ったりして楽しいひと時を過ごしましょう。

▼二月九日(土)そばうち大会を行います。横越地区公民館で午前十時から。

横越地区の休耕田にまいたそばが二〇〇キログラムとれました。そばをうってみんなで食べましょう。定員がありますのでお申し込みは江南区役所横越出張所まで。



横バスと地域福祉計画について

横バス協議会の状況と、江南区ふれあい、ささえあいプラン推進委員会への参加について報告します。

横バスは平成二十二年十一月に運行を始め、三年目に入りました。交通弱者といわれる高齢者や学生の安全な移動手段として、又公共交通を充実させることで、より住み良い地域作りを目指して運行されています。各自治会には、協力金という負担をお掛けしていますが、利用者も少しずつ増えていますので、何卒ご理解下さいますよう、宜しくお願いいたします。

新潟市では、各区ごとに地域福祉計画を作成し、色々な活動をしています。その名称が「もつと笑顔でつながって! 江南区ふれあい、ささえあいプラン」です。

背景には少子高齢化、核家族化が着実に進み、家庭内の相互扶助機能が低下していることや、地震や水害などの災害時に必要な、要援護者への対応の充実などがあります。

家族、友人、近所や地域の「つながり」を大切にしましょう。

行政には、個人情報保護法に縛られ過ぎず、柔軟な対応を望みます。

二〇一三年。希望の見える年になりますように!!

横バス<南ルート> 冬期ダイヤ変更について

- 対象 南ルートの第1便のみ
- 内容 各バス停10分繰上げ
(始発 二本木1丁目 7:23→7:13)
- 期間 1月4日(金)~2月28日(木)
*上記以外のダイヤに変更はありません

□問合せ (有)フィールド・あが
☎ (385) 3144



教育文化部会の動き

十一月十一日に新潟市民プラザで開催された、いのちの講演会「自分の番いのちのバトン」――父 相田みつを を語る――に参加してきました。講師は長男の相田一人さんで、いのちの詩人と称される相田みつをさんの作品について、プライベートな事も交えてお話を聞くことができました。

メディアでは悲しい出来事が多く報じられています。未来を生きてゆく子どもたちにしつかりとバトンを受け継いでもらいたいというメッセージ、そしてそのバトンは過去に生きてきた人々から受け継いだとても大事なバトンというメッセージ、いろんな思いが込められている作品が「自分の番 いのちのバトン」なんです。

教育文化部会では、講演会を企画しています。BSNラジオ「はや・すた」で子育てアドバイザーをしている乙川ヤイさんを講師にお迎えする予定です。子どもの成長は嬉しい、だけど心配な事もたくさん！乙川さんのお話を聞いて、少しひと息つきませんか？

今回は小さなお子さんの親々思春期のお子さんを持つ親さん、そして、じじさんばばさんにも参加してもらいたいと思っています。

一人で出来る事って、限られると思います。けど何か集まったときに、いろいろ話しながら、ヒントが見つかった！なんて事があるのではないのでしょうか。楽しい講演会になるよう、ただいま準備中です。

大雪対応

ボランティア

センターについて



Ⅱ 江南区社会福祉協議会 Ⅱ

大雪で次の要件すべてに該当する場合、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、障がい者がいる世帯を対象とした大雪に関する相談窓口が区役所健康福祉課に開設されます。(開設は、市ホームページや報道機関を通じて発表されます。)

- ①大雪警報が発表された
- ②積雪予報が続いている
- ③高齢者や障がい者の日常生活に支障が出る恐れがある

合わせて区社会福祉協議会に「大雪対応ボランティアセンター」を設置します。

ボランティアや自治会・町内会の協力の下、玄関前の除雪やごみ出し、買い物などを支援します。(屋根の雪下ろしは対象外です)ご相談をお待ちしています。

また、支援を行うボランティアの登録もお願いします。

▽問合せ 江南区社会福祉協議会

☎ (三八五) 四三二一

今旬の美味しい野菜

幻のキャベツ“さくら”

を紹介します



横越の雪下キャベツ“さくら”の事を新潟日報の「甘口辛口」の中で紹介したところ多くの反響があり驚きました。

さくらキャベツとは横越地域で昔から作られていた冬キャベツです。

このキャベツは一〜二月寒くなり、雪が降ると甘味が増し美味しくなります。

しかし、実が軟らかいことや大きさが揃わないことなどの理由で、市場への出荷が難しく、とうとう種が作られなくなったので、今では見かけられなくなり、幻のキャベツと云われています。

でも、ご安心下さい。その代わりに、さくらの血を継いだ「妙高」というキャベツができました。

カガヤキ農園若手スタッフが毎日手を真っ赤にしてそのキャベツを掘り出して出荷しています。

さくらと同様、甘くて美味しいキャベツです。

私たちの住む横越は昔から野菜の産地で阿賀野川がもたらす肥沃な大地のおかげで冬でも雪下キャベツのほかに、人参、大根、ゴボウ、長芋など、どれも一流で美味しい野菜が作られています。ですから、横越の野菜を選んで食べてほしいと思います。

ここだけの話ですが日報に「さくらキャベツ」の話が掲載された翌日、カガヤキ直売所で(さくら)キャベツを見つけました。奇跡です。

田中 さとみ

新潟日報コラム「甘口辛口」に執筆している、沢海在住の田中さとみさんから寄稿していただきました。